

# 平成 25 年度事業報告書

平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 カーボンシンク

## 1 事業実施の方針

事業方針 1～3 については、平成 24 年度に定めた内容に基づき、本年度も事業を進めた。事業方針 4、5 については、水環境ビジネスの進捗に応じて事業を展開した。

### 方針 1：「カーボンシンクが生み出した“つながり”」

過去の活動において、カーボンシンクは多くの事業において、様々な“つながり”を生み出してきた。ミッションである「低炭素社会の実現」に向けて、さらに多様かつ有効な“つながり”を見出し、事業化することを目指した。

### 方針 2：「新たなテーマへの展開」

滋賀県や県内企業団体が重要テーマに掲げる「水環境ビジネスの推進」においては、企業シーズと現地ニーズのマッチングが必要不可欠であり、カーボンシンクが新たな役割を得る可能性が高い。

低炭素社会の実現に向けた、CO2 削減・省エネに続く新たな重点テーマとして「水・湖沼」に着目し、①適正技術・中間技術のものづくり、②コミュニティ開発による地域自立などを実現すべく、県内企業との協働によるプロダクツ・サービスづくりを行った。

### 方針 3：「新たな活動を見出すこと、知名度を拡大すること」

持続可能な社会づくりに向けた課題や将来像を共有する機会を増やすなかで、カーボンシンクの新たな活動方針を見出す。さらに、ホームページ、省エネガイド等のツールを活かし、情報発信に努め、カーボンシンクの知名度拡大を目指した。

### 方針 4：「事務局体制の再構築」

事業の円滑な実施には、事務局体制の再構築が不可欠である。特に水環境ビジネス分野における対応が可能な人材の発掘と雇用を進めた。

### 方針 5：「企業会員の獲得」

水環境ビジネス等で関係構築の進む企業を中心に、会員獲得を進めた。

#### (1) 「特定非営利活動に係る事業」

##### 「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施」

##### ① 県内企業並びに滋賀県環境保全協会との協働事業

##### 事業名：(仮称)水環境ビジネスワーキンググループの活動支援

##### 滋賀県採択事業申請名称

##### 「台湾水環境ビジネス「びわ湖水環境モデル」の実践とASEAN向け布石戦略」

水環境ビジネスにおいて、県内の中小企業がもつ技術シーズと、途上国の現地ニーズをマッチングさせ、持続可能な技術・ものづくりに特化した事業を生み出した。

昨年度発足した運営組織に基盤強化、並びに、事業プラン（台湾を対象）の採択を得て事業に着手した。※平成 26 年 1 月末完了予定

## ② 水環境ビジネスのコーディネート基盤強化

水環境ビジネスにおける、県内企業の支援、企業シーズと現地ニーズのマッチング、行政間の関係構築などのコーディネートを担当する人材を、上記の採択事業を活用して、2名を発掘・雇用した。

### 「低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供」

#### ① 環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキング!～」など

Motto エミコロジー関連事業のうち、トークサロンを開催した。

平成 26 年 7 月 27 日（日） 15：00 から 17：00

#### ② 水環境ビジネス研究会

（仮称）水環境ビジネスワーキンググループ参加企業を中心として、水環境ビジネスのアジア進出における課題や現地ニーズ等の情報共有さらには、技術連携を進める研究会を定期的に開催した。平成 25 年 12 月から、ほぼ毎月開催し平均 10 社程度が参加した。平成 26 年 6 月からは、「チーム台南プロジェクト」会議と改称した。

## (2) 「その他の事業」

### 「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案」

特になし

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出予定額(千円)
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	①県内企業並びに滋賀県環境保全協会との協働事業	通期	滋賀県内外	4名	滋賀県内 20社程度	0
低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施	②水環境ビジネスのコーディネート基盤強化	通期	滋賀県内	4名	滋賀県内 20社程度 行政等の 関係機関	4,528
低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供	②水環境ビジネス研究会	通期	滋賀県内	4名	滋賀県内 10社程度	0

### (2) その他の事業

特になし